

---

# チョイス

gu ~

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チヨイス

### 【Nコード】

N3269F

### 【作者名】

g u ~

### 【あらすじ】

夢に現れた神につれられ別世界へ・・・与えられた能力は【チヨイス】選択肢の力？戦闘力はなさげだが金は稼げそう・・・いつたいどうなるのやら・・・

## 1話

だらけた姿の青年がベットで寝ている。どうやらうなされているようだ。

自分は真<sup>しん</sup>。只今21歳大学生。単位もとり終わり日々だらたす<sup>す</sup>ごしている。趣味はネットでフリーの小説あさり。運動苦手。鈍いとかではなく単純に運動不足。ぱつと身やせ方だが最近おなか周りがやばくなってきた・・・

今日もいつもどおり昼に起きだらたらと過<sup>ご</sup>し深夜に就寝。気楽に過<sup>ご</sup>していた。

いつもと違うのは今日の夢は珍しく明せき夢だというぐらい。夢だとわかつてる夢のことだが一時期よからぬ考えのために見ようと練習したことがある。

まあ、めったに見れなかったのだが夢とわかれば好き勝手にできる。たまに見るのを楽しみにしていた記憶がある。

最もそれは昔の話。今となってはめつきり見なくなっていたのだが・・・

目の前になにやらもやもやした黒いものがある。いや、「いるか・・・。なにやら話しかけてきた。」

「どうも」

夢なのだからこついつくこともあるだろう。

「どうも」

返事は日常の基本である。

「あのおー自分で言つてて恥ずかしいんですが。神様です。ハイ。最もいるかわからない、ここの世界の神じゃないんですが。」

と、のたまわってくれた。

「えー見た感じハイハイってあきれてる雰囲気ですがマジです。マジです！あなた、YOUの夢にお邪魔させてもらいました。神です！本物です！リアル！！夢の中だけど！！Are you OK？」

なにやら最初の気まずそうな口調もどこにやら、徐々にテンションが上がってきたようで騒がしくなってきた。まあ所詮夢。つきあつてあげよう。

「OK OK んでまた何で自分とこに？実は隠された力が？運命の人？救世主？勇者の血筋？」

小説にありそうな設定を並べてみる。夢なら自分の思考が元だろうからそんなもんだろう。

「NO！！！！ワタクシ神は神でもギャンブルの神！ここにきめたのも偶然ネ！！ダーツできめたようなもんネ！！さてここであなたにワンチャンス！」

選択肢1 私のいる世界に来る！その場合ワタシの能力一部あげちゃう！

選択肢2 現状維持！でもその場合ワタクシ呪いかけちゃいますう！！！！

ギャンブルの神・・・なんかチャライの納得・・

「1はなんかありがち設定だけど2の呪いって何だよ？勝手にきいて迷惑な・・・」

「良くぞ聞いてくれました！ワタクシ実は世界を渡るの初めて！命がけ！！死んでもおかしくなかったねえ 前人未到！！！それこそギャンブル！イツツME！！そうまでしたからにはYOUにもリスクせおってもらうねえ！ワタクシいる世界治安悪いね！呪い怖いね！どちらもリスク！！サイコー！！」

「そしてそして気になる能力と呪い！そのなもーー【チヨイス】！そのまま日本語訳！選択！ギャンブルの神ですから〜ギャンブルに勝てちゃう能力です 勿論呪いは逆デース！呪われたら・・・選択問題絶対あたりませー！！！！ん さあ、YOUのチヨイスは1？2？どっち？？」

「・・・」

所詮夢なんだからどっちでも良いんだろうが、この展開。そう思わせてマジな気もする・・・勝手に来といてこっちにリスク負わせるなといたいのが聞く気もなさそうだ。フム、真面目に考えてみるか別に今の現状不満はない。少々就職して働くのは嫌だと思ってるがなんとなく日々過ごせそうな気はする。特に夢もなし。でも治安がわるいのはなあ・・・能力は胡散臭いし・・・金かせげそうだけど特にほしいもんじゃないしなあ・・・でものろいは嫌だなあ・・・選択がテストみたいに限られるのかしらんが全部はずれて・・・ああ、何か真面目に考えるの嫌になってきた・・・ものは弾みだ。

「んじゃ1で」

「おお！！！！！！？１？１？すんばらしい！！ワタシの世界にご招待！  
！そもそも無事に帰れる保障なし！具体的に何も聞かない！ワンダ  
フォー！！それこそギャンブル イッツゴ―」

おいおい、帰れる保障とか聞いてないし．．

と思うもつかの間。視界がグルグル回る．．．うえ．．きもちわり  
い．．．

．．．．そして意識を失った．．．。

## 1 話（後書き）

最近暇で書いてみました。続きを書く気は少しあります。だれかコメントくれたら書くと思います。ダメだとしても間違い注意でもいいんでおねえ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3269f/>

---

チョイス

2010年11月6日01時42分発行